

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary Club President & Secretary



超我の奉仕

国際ロータリー第2790地区2005 - 2006年度期末 御礼と感謝そして総括

ガバナー 山中義忠

光陰矢の如くあつと云う間の1年でありました。公式訪問では、総てのクラブにて温かい超我の奉仕を頂戴し、愛と平和の実践を其処に見る事が出来ました。改めて厚く御礼申し上げます。一つとして同じく似ていると感じたクラブは、在りませんでした。厳然たるこの事実は、意志と理解が相違しても、相手を受け入れる寛容の超我が、其処に在ったことを示しておりました。今会員である貴方の個主が、他に無いクラブの個主、個性を創り上げたのであります。超我は愛、愛は不戦の平和、それを実現したのは、私の個主を貴方が超えたからであり、その不戦が貴方のクラブの平和、個主の存在を現実としたのでありましょう。民主主義の民は複数であり、複数の最終決定は多数決であり、それは戦争そのものであり、最早其処に、不戦や平和はありません。親鸞は、縁無き衆生は度し難き、と文盲多き時代の個人への布教が、如何に難しいかを嘆いております。

本年度当2790地区には、ロータリアンの個主、そう本当の民主がありました。会員減少なぞ決して危惧するものではありません。I serve か We serve か、その答は、全く簡単であります。I serve の I が無ければ、ロータリーは存在しません。英字の I と、漢字の愛 か、解かりにくいなあ、俺はどっちでもかまわんぞ、と仰言方は、きっと、愛とは性愛セックス、しか頭にない方でしょう。

国際ロータリー理事会は、世界の地区法人化案を、採択しております。なんと恐ろしいことでしょう。ロータリアンよ、献金に優れた社員に成れとでも言うのでしょうか。輝かしきロータリー新2世紀年に、ロータリーの I を消さない様にと祈るのみです。

I serve above self が、永遠に続くことを、私に確信させて下さった当地区の会員の皆様、畏敬の感謝と、衷心からの御礼とを、捧げたいと存じます。権力ある者に金力を渡すな、金力ある者に権力を渡すな、ロータリーは、お金や権威が無い人でも、人格見識に優れた人ならば誰でも入れるのであります。そういうロータリーが、このロータリー世紀に実現することを祈っております。有難う御座いました。



地区史を編集して

パストガバナー

佐川 一元 (船橋南 RC)

この一年を回顧しての私の主な仕事は、地区史を編んで発行したことでした。

ロータリー100年を記念しての事業の一つと思って取り組みましたが、今は故人となった多くの先輩、励まし合って楽しくすごした奉仕のなかま等の顔が、浮かんでは消えてゆき、感慨無量でした。ロータリークラブの全財産は会員だけだということを実感します。その大切な財産が減りつつあるのが現状ですが、これら多くのなかまの英知と努力によって今日のロータリーが築かれて来たことを思い、胸が熱くなるような気持で仕事を続けていました。

栄光ある過去の業績をまとめることの出来た喜びと、先人への感謝でいっぱいです。



1 年を顧みて

パストガバナー

黒田 実 (茂原 RC)

山中ガバナーには、この1年本当にご苦労さまでした。

ステンハマーRI会長の、テーマ「超我の奉仕」とロータリーの新しい世紀への第一歩を踏み出しました。

昔の人は、人生のはじめにまず歴史と人生の根本原理を学ぶため、自分の一生の師を探し求めることから始まります。すべて一生の大事は師によって定むという考え方は残念ながら近ごろは薄れております。私は幸運にもロータリーの超我の奉仕に巡り合い一生の師を得ることができました。山中ガバナーは、愛の原理について深く解りやすくお話をされ自分を愛するごとく人を愛し自分を信ずるごとく人を信じ、人を愛する事によって自分も喜びと生きがいを感じ、それゆえに人間は社会生活に愛の奉仕をするのですと公式訪問でのお話をされました。素晴らしいご指導に敬意を表し感謝を捧げたいと存じます。

これからも地区の発展のためにご尽力を賜りますようお願い致します。有り難うございました。



1 年を顧みて

パストガバナー

齊藤 博 (市原 RC)

山中ガバナー様一年間本当にご苦労様でした。Service Above Self をテーマに、他人に与えるだけの超我が愛、そっと与える行為を奉仕と解説された氏の真摯なご指導は、我々の胸中に強く印象づけられました。

反面本年度限りで地区から二クラブが消滅し、退会者も見受けられるという。原因の一端に、目的意識に乏しくロータリー情報の不徹底があるのではないのでしょうか。

クラブの例会における親睦活動のうちに各自の精神的境地が接触し、自己否定の論理を媒体として各自の精神的境地が高まり影響力を増し、「組織立てられた道徳」を体得する。他者の自発的追従によって、社会集団活動が同様の境地・目的を達するという。言わば社会で実現する知的エネルギーの原料の良質化の作業であると言うロータリーの理論構造を、年度のテーマと共に併せ熟考する事が、今ほど必要な時はないと思います。



炉辺談話

パストガバナー

土屋 亮平 (松戸 RC)

山中ガバナー一年間のご指導有り難うございました。

今年度「Service Above Self」と深遠なRIテーマを採用したステンハマー会長には心底びっくりしました。

1911年ポートランド大会のコリンズの発表より95年、対であったシェルドンの「He Profits...」と云う実践倫理は消え去り、抽象的な人生哲学のみが生き残りはしましたが、年月は大きくロータリーを変貌させてしまいました。最初のRI会長のテーマは、1953年シビルズ会長により発表され、会長の方針を強く示唆することを目的としました。それが1988年ケラー会長の時よりRIテーマと変更して発表されたのであります。「RI会長テーマであれば、年度の方針を示す上で尤もであるが、RIのテーマとすれば、それは唯一無比『ロータリーの綱領の推進』に尽きるのではないか」右顧左眊の結果、後日という回答を待ち続けて居ります。



山中さん、ごくろう様でした

パストガバナー

土屋 秀雄（千葉 RC）

やっぱり私の期待通り、あなたは素晴らしいガバナーでした。親子二代のガバナー家系に生れただけにあなたの活動は、地についていました。とくに地区大会の構成は見事なものでした。和賀井名誉教授の特別講演「人命の尊さ」は、とかく有名タレント勝ちになるところを地についた人選でロータリーの基本理念を盛り込んで頂き敬聴に値するものでありました。

また駐日デンマーク大使のスピーチでは、身近な国際親善とロータリー活動の成果を発現され寸分の無駄の無いスケジュールをみせて頂きました。

ところで月信 11 号であなたがご指摘の通り会員の減少は、大きな問題です。どうか現役を退出されても今後一層のご指導とご活躍を期待します。



月信 12 号に寄せて

パストガバナー

石井 亮太郎（松戸東 RC）

年老いるに従って一年間と云う時の流れがひたすら短く早く過ぎ去ってしまうような感覚に立たされている此の頃ですが十一年前にガバナーを務めさせて頂いた当時は、月日の経過が大変永く感じられたものでありました。手帳には毎日の予定が隙間無い位に書き込まれていて、消化し終わった出番を目で追って先を確かめては、一人溜息を付いたことを今は懐かしい想い出ですが、今期年度の終盤を向かえられた山中ガバナーの心境は如何ばかりかと思ひ馳せる処であります。

単独クラブ訪問を決意され、85 ロータリークラブ訪問を見事に完遂された努力と熱意に対しましては深く敬意と感謝をお贈りし、併せて御慰労申し上げるものであります。

国際ロータリー役員のガバナーに課せられる職務の尤も重要と考えられるものは、年に一度のクラブ公式訪問を通じ、会員諸公と接し友情を交わし、クラブ発展に帰する処は R I 会長の指針に基づいた情報伝達とクラブが必要と考えられる指導的な助言を提供する処にある訳で、現代にあつて会員数が際立って減少し続け解散決議を已む無くされるクラブが出現する現実にあつて、正しくガバナーの課す役割が如何に重要であるか全てのロータリアンは認知し、激務に前向きに取り組むガバナーに対し、敬意を贈られつつ、クラブの主体制に基づいて発展に向けて努力をなさることがあれば、ガバナーの一年間の献身在ガバナー御自身に取りましても報われ感慨を持たれることになるものでありましょう。

ご主人を支えられた奥様はもとより、幹事長、幹事の皆様そしてホームクラブ会員各位、ご協力を得た分区内各クラブの皆様にも敬意と御慰労の言葉をお贈り致しますのであります。お疲れ様でした。



山中年度ご苦労様でした

パストガバナー

大矢 惣一郎（大原 RC）

2005 - 2006 年度のテーマ「超我の奉仕」は、“愛”と力説し続けた山中ガバナー年度も、終わりとなりました。地区内すべてのクラブを公式訪問され、全クラブ・全会員との直接的な意見の交換や何よりも親交を深められたことは、大きな成果であり、深い愛を感じます。

山中ガバナーの動くところ、常に令夫人万里子様が、けなげに同行している姿にも深い愛を感じます。

大変少人数の船橋南ロータリークラブの皆様が一致団結して事に当たったという点でも、拍手を送りたいと思います。

これからは期間中のご経験を生かしてホームクラブの発展と地区発展にご尽力下さいますようお願い致します。ご苦労様でした。



一年間を振り返って

パストガバナー

長島 洋三（市川東 RC）

ガバナー事務所から「一年間を振り返って」というテーマの原稿の依頼を受けて、大いに困惑している。普通この種の原稿は、ガバナーの一年間の労苦を称え、齒の浮くような美辞麗句を羅列しがちであるが、私は山中ガバナーに素直に賞賛の拍手を贈る気にはなれないからである。彼はガバナーとしては致命的な欠陥を持っていた。言葉を口から出さず、口の中でただもぐもぐ言っている、悪癖があったのである。彼がアナハイムへ行く時私は長文の手紙を彼に託し、話し方を根本的に直すようにアドバイスしたが直らなかった。彼は「超我の奉仕」を「愛と平和の実践」と説き、今年度の地区のテーマも、循環器の名医らしく「人命の保全」としたが、この格調高いテーマも理念も、彼の口から出る言葉では、理解できず、ガバナー月信を読んで納得するしかなかったのは、残念であった。



山中ガバナーご苦労さま

パストガバナー

平山 金吾（成田 RC）

あっと言う間の一年だったか、大変な一年だったかは分かりませんが、恐らく山中さんにとっては一生の内でも意味深い年であった事は確かです。この一年の思い出は生涯ついて回ります。とにかくご苦労様でした。

地区リーダーシッププランがアナハイムでの国際協議会で発表されたのが私の年度でした、あれから 10 年、未だこれの採用が出来ていない事に千葉の後進性を感じます。

ポール・ハリスは「ロータリーの歴史は何度でも書き換えられなければならない」と言っています。勿論基本原理は変えてはいけませんが、方法論は時代、規模の変化に応じて変えるべきです。その点で、山中ガバナーが折角計画したこのプランを崩したのは残念でなりません。

今、ロータリーは大きく変わってきました。よく誤解されているのが、国際ロータリーが提案する総てをクラブが実行しなければならないと言う問題です。国際ロータリーはプログラム、メニューを提示しています。選択は各クラブの自由です。定款細則さえ R I の了承を受ける必要はありますが、可也の自由度があるのです。ですからクラブの自主性を重んじ社会の木鐸として大いに奉仕活動を行って頂きたいと思います。

山中ガバナーはこれからは地区の諮問委員、リーダーとしてご活躍するわけですので、大いに新風を吹き込んで下さる事を期待しています。



山中義忠ガバナー、お疲れ様でした!!

パストガバナー

北原 敬市（船橋東 RC）

2005 年～06 年度、R I 第 2790 地区ガバナーとして、その重責を立派に完遂されました、山中義忠ガバナーに衷心より畏敬の念を捧げますと同時に深甚なる感謝の意を表したいと存じます。

山中ガバナーには、ロータリー創立 100 年+1 年の新世紀の門出に当たり、優れた指導力と思いやりの温かい心を持って、次年度の橋渡しをして下さいました。

山中ガバナー、本当にお疲れ様でございました。これからは、ガバナーという激務から離れ、少し余暇も出来ると思います故、しばらく休憩を取って一息入れてください。

万里子令夫人におかれましては、ガバナーノミニー夫人、ガバナーエレクト夫人、ガバナー夫人として、常に内助の功を立派に果たされました。只々厚く御礼申し上げます。更には浜名地区幹事長をはじめ、地区幹事各位並びに、ホストクラブをお務め下さった船橋南 RC の皆様、事務職員の皆様方には心より感謝の意を捧げたいと存じます。本当にお疲れ様でした。有難うございました。



CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)について

パストガバナー

渡邊 隆（習志野 RC）

R I 理事会の決定事項として CLP の問題がとり上げられ、議論を呼んでいるようである。CLP とは、一言でいえば、クラブの指導力を一段と強化しようということで、クラブの自主性を高めようというのである。R I や地区の言いなりではなく、各クラブにおいて、そのクラブでなければ出来ないことを取上げて、地域に役立つように実践せよ、という当り前の主張である。

つきつめて考えれば、会員あつてのクラブであり、クラブあつてのロータリーである筈で、なにも目新しいことではなく、基本的には会員各位が、会員として日常の活動を重視しようということを改めて強調しているに過ぎない。



ロータリーの今昔

パストガバナー

秋元 秀夫（君津 RC）

山中ガバナーもあと一月余りで任務を終わろうとして居ります。一年間ご苦労様でした。

思わぬ悩みでご苦労も多かったと存じますが、見事乗り越えて来られた感動のほうがより大きかったと存じます。

しかし、私はガバナーから下命された指名委員長の役目はまだまだ終わりそうもありません。かつてロータリーには「ノー」はないと言われ、至難な役目、仕事もみな乗り越えて参りました。「ノー」がないのは、与えられた役目に対して横社会のロータリーの組織を運営し、先輩、友人達に助けられて自分を磨き育てることが目的だからであります。最近、とかく「頼まれたロータリー」という意識の方ばかりであります。改めて選ばれ、修業する機会を与えられたロータリーであるという事をを思い出して戴きたいものです。



一年を顧みて

パストガバナー

鈴木 雅博（市原中央 RC）

山中ガバナーの卓越したご指導を戴いて、実り多い一年が終わろうとして居ります。御活躍に敬意を捧げながら、暖かなお人柄の中に秘められた情熱から、ロータリーの基本の思想を、激務の中にも拘らず地区 85 クラブ全てを公式訪問され、笑顔を絶やさず穏やかな語り口で伝えられてまいられましたのは、正に地区内 3,000 余のロータリアンへの思い遣りの御姿勢そのものであり、ロータリーの基本的な思想を自ら実践なされたものと理解させて戴いて居り、感謝して居る処で御座います。

ロータリーの新たな 100 年が始まって居る時、今までを支えて来た揺るぎない上質な思想が受け継がれて居ることが明らかとなり、安堵の想いで居ります。



米山記念奨学会のこと

パストガバナー

森島 庸吉（船橋西 RC）

私がロータリー米山記念奨学会にかかわるようになったのは、平成 13 年度鈴木雅博ガバナー年度に評議員を仰せつかって以来です。5 年が経過したことになります。平成 14 年度には、財務専門委員を委嘱され、平成 16 年度には財務委員長を務めました。地区では平成 15～17 年度まで 3 年間、地区米山記念奨学会委員会のカウンセラーを務め、他クラブから依頼の例会卓話の内容も米山奨学会のことが多く、まさに米山奨学会中心のロータリー生活でありました。

地区の米山記念奨学会委員の方々をはじめ、多くの方々のご支援により無事お役目を終了できますことを心から深く感謝申し上げます。

米山記念奨学会の事業は R I のプログラムではなく、日本の財団法人として、日本のロータリアン皆様のご意見を反映させながら運営されております。ロータリアンが議論に参加しながら、絶えず理想を目指して変革を続けております。

米山奨学事業の使命は、将来、「日本と世界とを結ぶ懸け橋」となって、国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することにあります。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

1952 年発足以来 50 数年の歴史を刻み、世界各国からの多くの奨学生を育ててきた奨学会は、卒業生であります米山校友会の方々によって、期待通りの素晴らしい成果を挙げております。米山奨学事業豆辞典には、韓国、台湾、中国をはじめ世界各国でそれぞれご活躍の方々が紹介されております。ようやくこの崇高な教育事業は、世界で開花の時期を迎えることとなりました。

この奨学金の特質は、単に奨学金を支給するだけでなく、外国からの奨学生に「心の通った支援」をすることにあります。奨学生は、奨学期間中クラブの例会、諸行事、奉仕活動に参加してもらうことによって、日本の文化、習慣などを学んでいただき、「社会参加と社会貢献の意識」を育て、将来「世界平和の創造と維持」に貢献できる人物となるよう期待されております。

このような奨学生への支援を通して、身近な国際親善、国際交流を深める「民間外交」は、素晴らしいロータリーの奉仕活動だと思います。

山中ガバナー年度も期待通りの成果を挙げ、白鳥ガバナー年度もすばらしい理念と計画のもとに順調に滑りだしました。米山奨学事業にご支援賜りました皆様に深く感謝の意を表するとともに更なるロータリーの発展を祈念申し上げます。



聖書への入門

パストガバナー

増田 裕（千葉中央 RC）

或る日、偶然に聖書の解説本（漫画入り、写真入り）を購入する機会があり、まず素読をしてみましたところ、黄金律とか山上の垂訓とかいう言葉が目に入りました。少し興味が湧き読み直したりしているうちに意味不明な個所も出てきたので、今度は熱くなって本物の聖書（日本語版）を買い求めて側に置きながら部分的ではありますが精読してみました。何と、コリント人への手紙、迷える羊や放蕩息子の例え話などはロータリーの根底に流れる心と全く同じであることが解りました。私にとっては大発見であり嬉しくなり、今は物語を読むような気持で時々ではあります。が聖書に親しんでいます。



超私の奉仕に想う

パストガバナー

杉木 禧夫（茂原 RC）

国際ロータリー、カール・ヴェルヘルム・ステンハマー会長は、我々ロータリアンに、テーマ“超私の奉仕”を提唱されましたが、その年度も残り少なくなりました。

併し、このテーマの意味するものは、ロータリーの発祥以来、延々のものであるが、凡人としての私などはこれからも自己制御の葛藤が続く日々かと想う。

最近の青少年犯罪の状況等を考えると詰る所、人間の自己制御、道徳心の高揚、即ち人間としての知的行動は、教育にしかないものではないかと考える。

幼少期よりの家庭教育、それも本来あるべき親の子供に対する躾が、近頃は希薄になっている事が気掛かりである。

家庭教育、学校教育も含め、その教育こそが社会を構成する人間作りの第一歩で、我々ロータリアンも何かしら社会に役立つ事を模索したいものです。



一年を顧みて

第1分区ガバナー補佐

関口 徳雄（浦安 RC）

光陰矢の如し、月日が経つのは早いもので、感想文を書く時期となりました。

ガバナー補佐を拝命した時は、地区の中樞の事は右も左も分からず、不安でしたが、山中ガバナー、そして浜名地区幹事長の御指導のもと、なんとか任務を終了できた次第です。

顧みますれば、分区内の会員の漸増も達成できず、退会防止がやっとのことで、御協力頂いた会員諸兄には会わせる顔がありません。

しかしながら、2ヶ月に1回の会長幹事長会は、期日が待ち遠しい程楽しみであり、互いのクラブの情報交換は実に有益でありました。

加えて、分区内親睦ゴルフコンペ、そして鈴木雅博PGをリーダーにお迎えしたIMは、会員の有益な情報交換の場となり、又、親睦を深める大切な機会でした。

「超我の奉仕」につき、「超我」は愛であり、愛は争わないので必ず平和をもたらすとの山中ガバナーの解釈は、まさにその独自性云々の議論を超えたガバナーの全人格を具現したものと思います。

最後に、分区内の会長幹事、並びに各会員の皆様には心より感謝申し上げます。



一年を顧みて

第2分区ガバナー補佐

瀧 芳文（船橋 RC）

昨年7月のガバナー補佐就任以来10ヶ月が経過したい

ま、さまざまな思いが駆け巡ります。地区大会への支援対策のこと、I・M・開催のこと、クラブ訪問等々…。任務遂行過程での不手際不行届きは数限りなく、各クラブ会長、幹事はじめ会員諸氏の心温まるご支援いただき何とか終わることが出来ました。あらためて感謝申し上げると共に、厚くお礼申し上げます。都合4回に亘るクラブ訪問で強く感じたのは、各クラブがそれぞれの方策で会員基盤確保に真剣に取り組んでいる姿勢でした。この危機意識がある限り、単年度の増減に一喜一憂する必要はない。長期展望に立てば必ずや相応の成果が上がる日が来ると実感したところです。心残りは、船橋北クラブが今年度末でR・I・離脱という残念な結末になってしまったこと。まことに申し訳なく、私の非力を悔いております。



一年を顧みて

第3分区Aガバナー補佐

布施 敬三（千葉若潮 RC）

2005—06年度もあと僅かとなりました。ガバナー補佐を拝命して初めて開催さ

れた補佐会議で山中ガバナー、浜名地区幹事長にお会いした時、果たして自分にできるのだろうかと不安を抱いたことも今では楽しい思い出のひとつとなりました。

ガバナー補佐の一年間を振り返りますと、公式訪問・地区大会・インターシティーミーティングとどれをとっても分区内7クラブの皆様にご協力いただいたことを最初に思い浮かべます。ガバナーのお言葉をお借りしまして“只々感謝あるのみ”です。

ロータリーの新しい100年に向けて第一歩を踏み出した今年度、山中ガバナーには人命の保全という地区テーマとCalm・Clear・Cleverの運営方針のもと、自ら超我の奉仕というRIテーマを実践し我々の為に新しいロータリー100年の扉を開いていただきました。

パストガバナー・浜名地区幹事長・地区役員の皆様と一緒に一年間山中ガバナーの地区運営に参加させていただいたことを大変誇りに思います。

次年度の、白鳥ガバナー・小池地区幹事長そしてガバナー補佐の皆様にご挨拶を送りまして私のガバナー補佐の一年の締めくくりといたします。

皆様本当にありがとうございました。



『楽しくなければロータリーではない』

第3分区Bガバナー補佐

山崎 邦夫（市原 RC）

職業に熱心な人でなければ真のロータリアンたり得ない。100%以上の出席率を誇る第

3分区Bの1年を振り返りたい。

それは例会なら毎月1回の正副幹事会で、参加の皆様は己の職業に忠実でロータリーの原理原則を理解され、人生観・遊びの哲学等々で座標軸を持ち、釈迦に説法は不要で楽しい例会を行っている。

今ロータリーは、義務出席や寄付のお願いや委員会・会議の多さなど屋上屋の状況で、過去に囚われて明日を考えない、真に行く末が案じられる。会員を信頼し、自由な活躍を願ったら如何か？

1人の大きな善意よりも、多くの人の少しずつの善意が大切だ。

心意気と痩せ我慢と額に汗を流しての1日を終わり、少しの酒肴で仲間達と語り合う時にロータリーの本質がある。

“桃李もの言わざれども下自ずから蹊を成す”

第3分区Bの正副幹事会は、来期の企画も完了です。



1 年を顧みて

第 4 分区ガバナー補佐

泉 正泰（木更津 RC）

第 4 分区ガバナー補佐の任期も、残すところ 1 ヶ月となりました。

袖ヶ浦・木更津・君津・富津の 4 市で構成される当分区は、それぞれの地域が、固有の歴史、文化を保有しております。

各クラブを歴訪する中でそのことを強く感じた 1 年でありました。

各クラブとも、その地域に密着した活動に真剣に取り組んでおり、独自の存在感を示していることに深い感銘を受け、同時に頼もしく感じた次第です。

本年度 R I 会長の掲げるスローガン「超我の奉仕」の 5 文字は当分区会員一人一人の心の拠り所になっていることを確信いたしました。

改めてご理解とご支援を賜りました地区会員の皆様に心から御礼を申し上げます。



1 年半を顧みて

第 7 分区ガバナー補佐

佐々木 守（旭 RC）

私には短いようで長い長い 1 年半でした。しかし何

とか無事留年しないで卒業出来そうなのも、ガバナー山中義忠先生をはじめ、地区、分区の皆様のご協力によるものと感謝しております。

それにしても何と会議、研修会、集会等の諸行事が旧態依然として次から次へと多いことか……。ガバナー補佐就任以前のガバナーエレクトとの会合、地区研修セミナー、P E T S、地区協議会、前任ガバナー補佐との会合等々……。更に就任以後 1 年は皆様ご承知の通りです。中でも地区大会の 2 日間は已に形骸化しており、堅苦しい儀式は中止して楽しく 1 日消化すべきではないでしょうか。これは 10 年前私がクラブ会長時代痛切に感じ、今年も更に、更に、痛切に、痛切に感じたことであります。改訂を次回も規定審議会に提案したいものです。



一年を顧みて

第 6 分区ガバナー補佐

穴倉 一輔（大多喜 RC）

2005 年～2006 年度も 1 ヶ月余りとなり、第三 四半期を過ぎた今、残る仕事は第三回目のクラブ訪問とその報告書作成、そして第六回

目の会長幹事会による年度の締め括りをし、引継ぎ行事のみになりました。

今年度は百年に力強く推進する第二世紀の初年であり、ここに山中年度は発進を致しました。昨年七月より分区内九クラブ、ガバナー公式訪問に遂行し、その都度ガバナーの「超我の奉仕」の真意、又ロータリー活動の核心につき懇切丁寧な卓話にクラブ員共々私も共感を致しました。

本年は情報研究会が地区行事となった為、その代替の意味もあって当分区では初めての試みとして九クラブ合同記念例会を行い、前 R I 会長代理 藤川氏の記念講演、第三部として大懇親会を催し、盛大な行事となりました。

又分区の主催による I M も登録者三七七名、杉木、増田両バスターガバナーの参会も戴き、成果ある I M を開催することが出来ました。

又年度内二回の分区親睦ゴルフ大会も無事消化し、各種行事も概終了しました。

各月行われる会長幹事会を通じ、協議をして参りました。会員増強も大概成果実績を挙げて居り、財団、米山の寄付金に於いても然り、そして各クラブの活動計画も順調に推進されて居る模様も確認できました。

ここに年度を終えるにあたり、私の拙い接觸対応にも拘わらず会長幹事さんを初め、会員各位のご協力に対し衷心より御礼申し上げる次第であります。



一年を顧みて

第 9 分区ガバナー補佐

平川 進（白井 RC）

思えば 1 年前にガバナー補佐の仕事我真摯に受けとめ、背伸びせず実直に行動しますと誓ってスタートした補佐業でした。

佐藤千壽先生の著書「奉仕の巡礼」の 1 ページにガバナー業は奉仕の巡礼者と表現しております。だとすると補佐としてもガバナーの二人三脚の巡礼者であると言えます。

2005 年 7 月 22 日印旛中央 R・C を 1 番札所として 9 分区内 7 クラブ山中ガバナー公式訪問の旅に出発、この間山中ガバナーは各クラブで 2005～2006 年度 R・I のテーマ「超我の奉仕」特にロータリー愛について次のように語ってまいりました。超我の奉仕を奉仕の理想と考え、自分以外の人に優しく、時に厳しく、只、与えただけの超我が愛、只、そっと与える行為を奉仕と自認し、愛は必ず平和をもたらすと信じます。依って奉仕の理想は世界平和であり、人命が今軽視され、人命あつての愛、ロータリーは今愛と平和をテーマにしたと解いております。

私は補佐としてサブテーマの環境保全と水問題を 9 分区のテーマとして取り上げ各クラブの会長、幹事さんに理解を求め全クラブ一致で協力していただき特に水問題に取組み水質の調査を実施するなど社会奉仕の一貫を担ってまいりました。

山中ガバナーを始め、分区内の会員の皆様方に心から感謝申し上げます。



一年を顧みて

第 10 分区ガバナー補佐

森下 俊夫（柏西 RC）

思い起こせば昨年第 10 分区ガバナー補佐の指名を受けてから約 1 年が経過しました。

当初は自分の経験不足から果たして高邁な理想を持つ山中ガバナーのお考えを分区内に浸透させることが出来るか甚だ自信がありませんでした。以来地区の補佐会議、分区内各クラブへの公式訪問を含む訪問、会長幹事会、I M、ゴルフを含めての合同例会、等々大変多くのスケジュールをこなし、あと数回の会合になりやっと先が見えてきたところです。その中でも 2 月 17 日の I M が私にとっては一番重要な行事で、まずテーマの選定が第一歩でした。そして各クラブの公式訪問時に必ず出たのが「地域社会とロータリー」であり、私も常にこのことが脳裏にありましたので迷わずこのテーマを選びました。そして I M においては、この地域社会の中での 外部広報 会員増強 国際奉仕 青少年問題 親睦 を各クラブに一つずつ分担してもらい各テーブルに分かれディスカッションをしてもらいました。その結果についてはガバナーに報告書を提出してありますが、その結果かなりの問題が浮き彫りにされたと思います。

反省としては、山中ガバナーのお考えをどの程度伝えられたか心もとないので反省しておりますと同時にガバナーには大変お教え戴きました。また各クラブはそれぞれ歴史と伝統に基づき素晴らしい特色のある運営に努められていることもわかりました。

又訪問を通じて数多くの友人が出来たことに心から感謝しております。最後に各クラブの会長幹事さん、特にホームクラブの田代会長、増谷幹事、補佐幹事の安川さんには本当にお世話になり深く感謝しております。

ロータリーは 100 年の素晴らしい継続性のもと常に改革を行い今後 100 年のスタートとして欲しいと思います。



1 年を顧みて

第 12 分区ガバナー補佐

岡田 庄一郎（松戸西 RC）

早いものでガバナー補佐の任期が少なくなってきました。第 12 分区の会員の皆様のご協力によりまして、全うすることが出来そうです。

国際ロータリー第 2790 地区ガバナー山中義忠様の心暖かなご指導により、緊張と不安の中にいた私ですが、何とか務めることが出来ました。

ガバナー山中義忠様は、85 クラブを全部 1 クラブずつ公式訪問されました。誠に頭の下がる思いで一杯になります。このガバナーのもとで一緒に活動できたということは大変幸福なことでした。1 年を顧みてつくづくよかったなと思います。

その他、地区大会、情報研修会、I M の時の研修リーダー、バストガバナー秋元秀夫様の「地域社会におけるロータリーの役割」というテーマで基調講演をいただいき、大成功で終了することが出来ました。

また、12 分区にはバストガバナー土屋亮平様、石井亮太郎様、お二人の全面的なご支援とご協力という力強いご指導を賜りました。心より敬意と感謝をここで申し上げます。

終わりに当たりまして、第 12 分区の会長、幹事様、全会員 221 名の皆様には大変お世話様になりました。心より感謝を込めて御礼申し上げます。有難うございました



ガバナー補佐の来賓扱いに困惑！

第 11 分区ガバナー補佐

長谷川 禎一（八千代中央 RC）

健康上に問題を抱えながら、無事任期を終えることが出来たことに安堵しております。

この一年は勉強になりましたが、皆様の御指導、御支援のお陰と感謝申し上げます。

山中ガバナーに接し、人柄に魅了された方は多いと思いますが、同時に、ガバナーが如何に激職であるかを実感させられました。85 クラブへの公式訪問、毎週のように開かれる地区の集まり、ガバナー会出席、海外クラブとの交流など、医師としての仕事の大半を犠牲になされた筈です。

地区の集まりでバストガバナーが来賓として紹介されますが、多大な自己犠牲をされてこられた方々は、正しく来賓に値しますし、ガバナーの滅私の献身があってこそロータリーの百年があったと感謝致します。但し、ガバナー補佐の来賓扱いは当惑、困惑、迷惑でした。



1 年を顧みて

第 13 分区ガバナー補佐

茂木 守之介（野田 RC）

期初、ガバナー補佐最大の任務と考えていた、分区内の

円滑な運営については、各クラブ会長、幹事の全面的なご協力により、何とか役目を果たせたものと思います。然し、地区活動目標であるクラブ年間 1 名以上の会員増強は、十分に達成出来ず残念でした。

全クラブ個別の公式訪問実施については、分区内に多少のとまどいも見られたものの、山中ガバナーのロータリーへの情熱と、ソフトなお人柄により、各クラブとも好感を持って受け止められたものと思います。

2 月に実施した I・M は各クラブ代表のロータリーとのかかりあいと、これからのクラブの進む方向についての提言、発表が、和やかな雰囲気の中進められ、途中退席者も少なく、無事終了することが出来ました。

3 クラブ周年行事への参加協力により、分区内の親睦と、会員増強への布石に成ったことと思います。

本年度各クラブのご協力に感謝いたします。

地区協議会報告

次期地区幹事長

小池 清二



2005～06年度の地区協議会が山中ガバナー、八千代RCのホストの下で、幕張メッセの大コンベンションホール、会議室とホテルニューオータニ幕張会議室にて開催されました。午前の本会議には地区役員や83クラブの役員、委員長等関係者1000人余りの人が参加されました。

午前10時に点鐘され、国歌・ロータリーソング斉唱の後、山中ガバナーの開会宣言がなされ、ホスト・クラブである八千代RCの川城会長が歓迎の挨拶をされました。続いて地区役員、ガバナー補佐、地区委員長、地区幹事の紹介がなされた後、地区協議会に当たっての講演が山中ガバナー、白鳥ガバナーエレクト、増田研修リーダーから話されました。山中ガバナーからは「地区協議会の意義」について話され、

過渡期にあるロータリー・クラブの事務引継ぎは最重要事項であり、次期役員がアイデアを出し、会員を守り、自分を高められるよう環境づくりをしてやるのが地区、クラブ役員の責務であると力説し、それにはガバナー補佐と連携し、白鳥ガバナー年度の発展に寄与して頂きたいと白鳥年度を庇う、暖かいお話がございました。

白鳥ガバナーエレクトからは「共に奉仕する我々の意義」について話されました。米国サンジェイゴでの国際協議会におけるウィリアム・B・ボイドRI次期会長の次年度テーマ「LEAD THE WAY・率先して」と人間性、次年度のRIの4つの強調事項を紹介されました。次期白鳥ガバナーは、一人一人のロータリアンが善行を実施すれば大きな力となり世の中が変わり、世界が変わるのだよと話されました。次年度の白鳥ガバナーの目標は、地区の2つのクラブが消滅したように、一部のクラブが崩壊し始めておりますから緊急課題として7つの次年度地区目標を具体的に提唱されました。ことの成否はそれぞれのクラブが活性化の方針に向かって、それぞれの会員が着実に任務を遂行するか否かにかかっていると、語気強く語られました。例会をはじめ、ロータリーの諸行事に積極的に参加して、ロータリーを極め、より良いロータリアンを目指して「率先して諸事に当たろう」と参加者に呼びかけ話を閉めました。

山中ガバナーから表彰が行われ、2分区、8クラブ、20人にそれぞれの分野の事由で表彰状や楯が贈られました。

続いて、次期ホスト・クラブが紹介され、小見川RCの天津会長エレクトが力強い責務感で次期を対処したいという抱負を語られました。

続いて、山中ガバナーの労を労い、白鳥ガバナーエレクトより記念品目録が贈られました。本当にご苦労様でした。

その後、次期地区大会のご案内を三木敏靖次期地区大会委員長がジョークを交えて大会が楽しめるようなアピールをされました。また、次期地区大会記念ゴルフ大会のご案内を角谷次期地区大会記念ゴルフ大会委員長から、市原市の鶴舞CCの36ホールを貸し切ったのコンペ開催案内が示され、各クラブ挙って大勢参加されることを期待をこめて、お願いのお話がございました。

閉会の点鐘が山中ガバナーからなされ2時間の本会議が無事終了いたしました。

その後、諸事お知らせがあり、午後の部会別協議会会場の案内と地区協議会報告書の作成に当たっての原稿提出依頼と、その関連で、ガバナーエレクト事務所との資料の送付をE-mailでスムーズに送りたいための各クラブのメールアドレスの至急提出をお願い致しました。最後に昼食の場所が複雑なため十分なるご案内を致しましたので、皆様昼食に在りつけたようでございました。

午後1時から部会別協議会がメッセ会議室6部会（会長部会、幹事部会、クラブ奉仕部会、職業奉仕部会、新世代育成部会、ロータリー財団部会）と隣のホテルオータニ幕張で3部会（社会奉仕部会、国際奉仕部会、ロータリー米山奨学会部会）がそれぞれの場所で開催されました。各部会には、リーダー役にガバナー、パストガバナーが当たり、サブリーダーに次期地区委員会委員長が担当されました。部会によってはアドバイザー役にパストガバナーが参加され意見を述べられておられました。

各部会に参加された各クラブの次期役員、委員さん方は約2時間程度の協議会でガバナー、リーダー、サブリーダー、アドバイザーのお話に耳をそばだて、次期クラブの運営や活動にどう活用するか案じつつ、真剣に取り組まれて居られました。最後の質疑応答でも部会によっては活発なご意見が合ったとお聞きして居ります。各部会毎に協議会終了後閉会となりました。

お忙しい中、地区協議会に出席された方々のご理解とご協力により恙なく終了出来たことに、この紙面をお借りして感謝申し上げます。

この地区協議会の様子は数ヶ月後に地区協議会報告書として皆様にお届けする予定です。

ガバナーノミニ・の辞退と再選出について

国際ロータリー第 2790 地区
ロータリークラブ会長 各位

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー 山中 義忠
指名委員長 秋元 秀夫

5 月 1 日付けで、松尾大邑ガバナーノミニ・より、昨年末の交通被害事故による怪我の回復が遅れているため、ガバナーノミニ・を辞退したい旨の届が提出されました。地区指名委員会は 5 月 10 日に会議を開き協議の結果これを受理致しました。

つきましては、至急 2007-2008 年度ガバナーのノミネートが必要となりますが、松尾ノミニ・決定の際各クラブより他に推薦がありませんでしたことから、この際は再度の公募をせず、地区指名委員会に於いて松尾大邑君に代わるガバナーノミニ・を選出することと致しました。

以上ご理解賜りますようお願い致します。

世界平和フェローの募集について(急募)

国際ロータリーは毎年、ロータリーセンターで国際研究、維持可能な開発、平和および紛争解決の分野において米国の修士号に相当する学位を取得する 60 名の資格ある人々を選出します。

現在、ロータリーは 2007-08 学年度に向けて、ロータリー世界平和フェローシップに相応しい資格を備えた申請者を募集しています。

関心のある方はガバナー事務所までご連絡いただければパンフレットをお送り致します。

なお、応募につきましては、最寄のロータリークラブ経由で 7 月 1 日までに申請書をご提出くださいますようお願い致します。申請書式や情報は

www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/index.html#foundation

からご入手いただけます。

2005 - 2006 年度 会長賞及び会員増強推進計画の表彰について

国際ロータリーより、2005-2006 年度の会長賞及び会員増強推進計画の表彰の受賞クラブが発表されましたのでご報告いたします。

会長賞

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| ・船橋東 R C | ・千葉中央 R C | ・千葉南 R C |
| ・君津 R C | ・館山 R C | ・銚子東 R C |
| ・八日市場 R C | ・佐原 R C | ・柏西 R C |
| ・佐倉 R C | ・習志野中央 R C | |

会員増強推進計画

- ・富里 R C

受賞おめでとうございます。

6 月	ロータリー親睦活動月間
	Rotary Fellowships Month
1 日(木)	職業奉仕委員会 第 8 回委員会
3 日(土)	千葉 REX35 周年記念式典
3 日(土) ~ 4 日(日)	ローターアクト関東ブロック研修会
4 日(日)	R 財団委員会 第 10 回委員会 奨学生合格説明会・オリエンテーション・壮行会
8 日(木)	WCS 委員会 第 12 回委員会
11 日(日) ~ 14 日(水)	マルメ/コペンハーゲン国際大会
14 日(水)	社会奉仕委員会 第 4 回委員会
18 日(日)	青少年交換委員会
24 日(土)	ガバナー補佐・地区委員長合同会議
未 定	R 財団委員会 第 11 回委員会 R 財団委員会 新旧委員歓送迎会

新ロータリアン

[現在準備中]



新井秀樹
(船橋東)
病院経営

平成18年5月11日入会



瀬戸山 隆三
(千葉幕張)
野球団

平成18年4月11日入会



井出 信一郎
(千葉幕張)
旅行業

平成18年4月25日入会



曾我部 哲太
(木更津)
電話事業

平成18年5月11日入会

塩島賢次
(木更津東)
ゴルフクラブ

平成18年4月5日入会



吉田正徳
(木更津東)
商業銀行

平成18年5月10日入会



浅野玄航
(勝浦)
仏教

平成18年4月28日入会

[現在準備中]



大野吉弘
(勝浦)
旅館

平成18年4月28日入会



中村 昇
(勝浦)
住宅建築

平成18年4月28日入会

中村 満
(勝浦)
防火機器

平成18年4月28日入会



植村 恵理子
(勝浦)
観光事業

平成18年5月12日入会



古西弘和
(横芝)
レストラン

平成18年4月10日入会



坂本博一
(佐原)
配管工

平成18年4月27日入会



鈴木徳英
(成田)
不動産清掃管理

平成18年4月14日入会



福田全良
(成田)
国際旅客

平成18年5月19日入会

新ロータリアン



鶴岡茂樹
(成田)
商業銀行
平成18年5月19日入会



関谷真宏
(富里)
国際ホテル
平成18年4月11日入会



西山 均
(柏)
警備保障
平成18年4月26日入会



菅谷敏夫
(柏)
電気通信事業
平成18年4月26日入会



川口大景
(柏)
旅行業
平成18年4月26日入会



中川 美代子
(習志野)
ビジネスサービス
平成18年4月19日入会



郷田雅弘
(習志野)
信託銀行
平成18年4月26日入会



伊藤達哉
(松戸東)
百貨店
平成18年4月21日入会

旭日小綬章



米山精次
(市川東)



込宮和彦
(富津)



深澤良平
(八街)

藍綬褒章

新 PHF



風見勝敏
(柏)

新ベネファクター



須藤英華
(柏)

マルチブル PHF



松丸典弘
(千葉幕張)



泉水博史
(市原中央)
1回目



根本孝英
(柏)
1回目



風見勝敏
(柏)
1回目



常井典夫
(柏)
1回目

米山功労賞



大垣 結
(市原中央)
1回目



妻島 不三二
(柏南)
4回目



鳥飼 三津男
(習志野)
2回目

敬 弔

- 謹んで哀悼の意を表します -



塩野谷 晋太郎君(八街RC)

逝去日：2006年4月13日 享年 71歳

入会日：1973年7月11日

ローリー歴

- ・ 1990～1991年度 幹事
- ・ 1995～1996年度 会長
- ・ ポールハリスフェロー
- ・ 米山功労者 3回

2006年6月のロータリーレートは110円です

R. I. 第2790地区(千葉)2005年4月出席・会員数報告

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数							分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数														
				女	男	7/1	女	男	今月	増減					女	男	7/1	女	男	今月	増減								
第1分 区	市 川	100	4	0	47	47	0	49	49	2	第6分 区	大 多 喜	87.50	4	2	20	22	2	23	25	3								
	市 川 東	95.58	4	0	55	55	0	52	52	-3		横 芝	100	4	0	32	32	0	33	33	1								
	市 川 南	78.10	4	0	22	22	1	20	21	-1		茂 原 東	92.65	4	3	31	34	3	31	34	0								
	浦 安	86.30	3	0	54	54	0	51	51	-3		茂原中央	91.41	4	4	25	29	4	25	29	0								
	市川シビック	78.33	4	0	41	41	0	40	40	-1		大 網	60.81	4	2	34	36	2	35	37	1								
第2分 区	船 橋	93.34	3	0	33	33	0	31	31	-2	第7分 区	東金ビユー	77.60	4	1	26	27	2	27	29	2								
	船 橋 西	88.02	4	2	41	43	2	42	44	1		銚 子	86.00	4	1	51	52	1	49	50	-2								
	鎌 ケ 谷	89.58	4	2	29	31	2	27	29	-2		旭	69.00	4	0	52	52	0	54	54	2								
	船 橋 東	95.00	4	3	29	32	5	28	33	1		八日市場	85.60	4	0	38	38	0	39	39	1								
	船 橋 南	88.90	4	3	24	27	3	24	27	0		銚 子 東	85.26	4	0	54	54	0	55	55	1								
	船 橋 北	100	1	0	8	8	0	4	4	-4		佐 原	80.79	4	0	50	50	0	53	53	3								
第3分 区A	船橋みなと	77.37	4	9	21	30	7	23	30	0	第8分 区	多 古	76.14	4	0	23	23	0	23	23	0								
	千 葉	84.70	4	0	76	76	0	75	75	-1		第9分 区	小 見 川	87.93	4	0	31	31	0	30	30	-1							
	新 千 葉	97.22	4	0	49	49	0	49	49	0			佐原香取	83.00	4	0	21	21	0	25	25	4							
	千 葉 西	79.26	4	4	50	54	4	51	55	1			成 田	100	4	0	48	48	0	50	50	2							
	千 葉 中央	89.59	4	0	40	40	0	42	42	2			八 街	77.68	4	2	41	43	2	40	42	-1							
	千 葉 幕張	87.63	4	5	32	37	5	33	38	1			印 西	79.80	4	0	28	28	0	28	28	0							
	千 葉 東	70.00	4	2	28	30	3	29	32	2			印 旛 中央	56.20	4	0	4	4	0	4	4	0							
千 葉 若潮	83.59	4	1	45	46	1	38	39	-7	白 井	80.00		4	0	22	22	0	22	22	0									
第3分 区B	千 葉 南	67.35	4	5	47	52	6	47	53	1	第10分 区	富 里	76.61	4	0	28	28	0	31	31	3								
	市 原	83.80	4	3	47	50	4	46	50	0		成田コスモリタン	76.44	4	0	54	54	0	54	54	0								
	千 葉 港	75.89	4	0	28	28	0	28	28	0		柏	67.83	4	3	30	33	4	30	34	1								
	市原中央	79.67	4	1	50	51	1	49	50	-1		我 孫 子	73.07	4	0	27	27	0	26	26	-1								
	千 葉 北	82.82	4	3	22	25	2	23	25	0		柏 西	86.76	4	1	47	48	1	50	51	3								
第4分 区	千 葉 緑	60.00	4	3	30	33	3	32	35	2	第11分 区	沼 南	90.79	4	1	24	25	1	22	23	-2								
	木 更 津	88.89	4	0	41	41	0	45	45	4		柏 南	86.80	4	2	35	37	2	34	36	-1								
	上 総	78.12	4	0	24	24	0	24	24	0		習 志 野	79.69	4	1	40	41	2	40	42	1								
	富 津	88.00	4	1	22	23	1	19	20	-3		八 千 代	80.00	4	0	54	54	0	55	55	1								
	富津中央	95.65	4	0	21	21	0	23	23	2		佐 倉	52.60	4	2	17	19	2	18	20	1								
	木更津東	88.18	4	0	45	45	0	45	45	0		四 街 道	87.51	4	4	21	25	4	22	26	1								
	君 津	95.34	4	3	43	46	3	47	50	4		八千代中央	73.60	4	0	30	30	0	31	31	1								
	袖 ケ 浦	97.73	4	2	19	21	2	22	24	3		習志野中央	90.22	4	2	31	33	2	34	36	3								
第5分 区	富津シティ	80.00	4	0	19	19	0	20	20	1	第12分 区	佐 倉 西	63.15	4	2	14	16	3	16	19	3								
	館 山	86.30	4	3	55	58	5	54	59	1		松 戸	77.71	4	0	41	41	0	46	46	5								
	鴨 川	83.50	4	1	26	27	1	23	24	-3		松 戸 東	95.95	4	0	53	53	0	51	51	-2								
	勝 浦	89.90	4	1	35	36	1	39	40	4		松 戸 北	79.70	4	0	44	44	0	43	43	-1								
	千 倉	86.00	4	0	28	28	0	25	25	-3		松 戸 中央	62.50	4	4	40	44	5	39	44	0								
	鋸 南	89.50	4	2	19	21	1	17	18	-3		松 戸 西	70.31	4	0	32	32	0	32	32	0								
第6分 区	館 山 ペイ	68.00	4	0	26	26	0	25	25	-1	第13分 区	野 田	81.82	4	6	50	56	6	50	56	0								
	茂 原	88.11	4	5	70	75	5	68	73	-2		流 山	75.95	4	2	24	26	2	24	26	0								
	東 金	88.57	4	0	31	31	0	35	35	4		野 田 東	91.30	4	0	40	40	0	40	40	0								
	大 原	85.50	4	1	21	22	1	23	24	2		流 山 中央	83.65	4	2	25	27	2	24	26	-1								
											野田セントラル										86.72	4	0	35	35	0	33	33	-2